

## 多年生雑草の防除

### 防除のポイント

多年生雑草のオモダカやクログワイ、ホタルイは、稲刈り後も生育を続け、地中で塊茎を形成し肥大させることで、翌年の発生源となります。このような難防除雑草を減らすためには、本田で効果のある除草剤の散布に加え、収穫後に塊茎を減らす対策を行います。

※ホタルイは越冬株の短い根茎からも発生します



オモダカ クログワイ ホタルイ

### 対策①「秋耕し」

塊茎は乾燥や寒さに弱いため、地中にあった塊茎を地上に出して枯らします。完全に無くなるわけではありませんが、翌年の塊茎の発生量を減らすことができます。

### 対策②「刈跡除草剤散布」

収穫後、茎葉から根まで浸透移行して地下部まで枯らすことのできる除草剤(ラウンドアップ)の散布をします。塊茎を肥大させず枯らすことができれば、翌年の発生量を減らすことができます。

**除草剤  
ラウンドアップ  
マックスロードの  
水稻刈跡散布の  
ポイント**

**50倍液**を散布してください。

10アールあたり  
薬量:1000mℓ  
水量:50ℓ

生育期	生育停止	越冬期	
8月	9月	10月	11月

刈跡処理 散布適期 ※葉色が黄化する前

■ 収穫時期が早くしかも温暖で、クログワイの再生が見込める地域



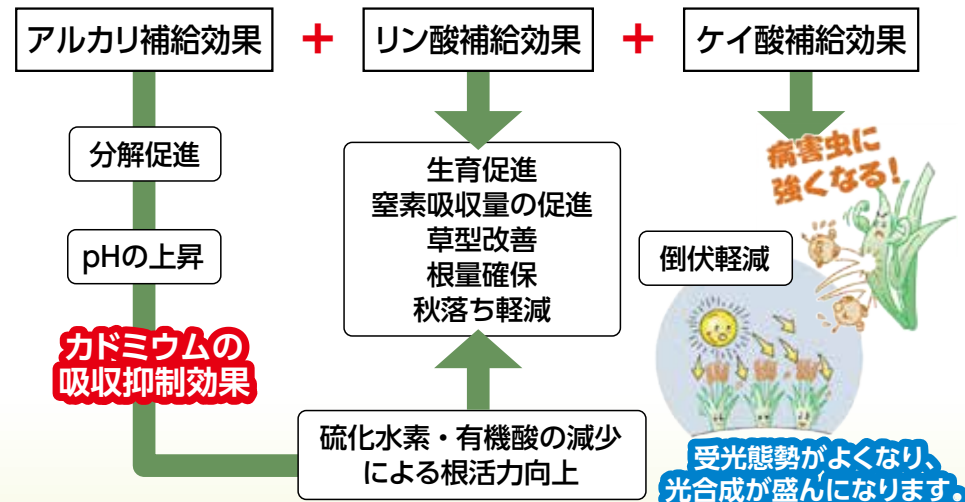
■ 収穫時期が遅くしかも低温で、クログワイの再生が緩慢な地域



塊茎寿命：オモダカ、ホタルイ1～2年・クログワイ3～5年

## 土壌改良資材の散布

### 土壌改良資材の 効果



JALレーク伊吹の土づくり資材  
田華の豊稲の粒状(左)と砂状(右)



#### 基準施用量

60kg～100kg/10a  
(圃場の土壌pHに応じて  
施肥量を調整して下さい。)

詳しくは、宮農担当者まで  
お問い合わせ下さい!!

**品質向上と 安定生産を 目指す!!**